

各地の便り

岐阜県における家畜排せつ物処理対策について

岐阜県農林水産局畜産振興室環境対策グループ 田中道弘

1. 岐阜県のあらし

岐阜県は、日本のほぼ中央に位置し、海に面していない内陸県である。東は長野、西は石川、福井、滋賀、南は愛知、三重、北は富山の各県に接している。面積は、10,596km²で全国第7位と広いものの、山岳地帯が多く林野面積が80%(全国2位)を占め可住地面積はわずか20%(全国45位)にすぎない。16市51町29村からなり、木曾・長良・揖斐の木曾三川をはじめとする豊かな水に恵まれた美濃地方と日本アルプスの山並みが連なる飛騨地方に区分される。海拔0mの平坦地から3,000mを越える山岳地まできわめて起伏に富んだ地形を有している。気候的には美濃地域は四季の変化に富んだ温暖な地域であり、中・東濃地域は準高冷地であり、飛騨地域は寒冷で内陸的性格が強い。

2. 岐阜県の農業の特色

県内の農家戸数は83,820戸(平成13年)、耕地面積は59,400ha(平成14年)であり、農産物の生産の特徴は、きわめて起伏に富んだ地形を利用し、多種多様な作物が周年にわたって栽培され、いつでも新鮮な農産物が供給できることである。そのうち全国的な銘柄品として「ハツシモ」「富有柿」「美濃茶」「岐阜いちご」「飛騨牛」などがある。

3. 岐阜県の畜産の特色

畜産についても美濃地域と飛騨地域により、その特色も大きく異なる。美濃地域では木曾三川沖積地での養鶏や河川敷草地を利用した酪農、中濃から東濃にかけての準高冷地では養豚、養鶏、酪農が取り組まれている。飛騨地域では山岳高原地帯であり、広大な山岳を生かした山地利用の肉用牛、酪農が取り組まれている。

岐阜県での銘柄として肉用牛では「飛騨牛」、豚では「飛騨けんといん・美濃けんといん」、鶏では「奥美濃古地鶏」の普及推進に努めている。

特に「飛騨牛」については、平成14年9月に岐阜県で開催された第8回全国和牛能力共進会において、岐阜県の出品牛が農林水産大臣賞を受賞したこともあり、全国的に認知されることとなった。

岐阜県の畜産農家戸数、飼養頭羽数は表1のとおりである。

採卵鶏の飼養戸数は全国の上位に位置するが、他の畜種については全国のほぼ中位にある。

表1 岐阜県の畜産農家戸数及び飼養頭羽数
(平成15年2月1日現在)

畜種	戸数	頭羽数	頭羽数/戸
乳用牛	280 (27)	11,400 (26)	40.7 (26)
肉用牛	890 (24)	37,100 (20)	41.7 (22)
豚	90 (26)	106,000 (25)	1,177.8 (15)
採卵鶏	160 (7)	4,279千羽 (13)	26,700 (26)
ブロイラー	45 (20)	1,160千羽 (25)	25,800 (27)

※()内は全国順位

4. 家畜排せつ物処理整備関係事業の実施状況

平成13年度と平成14年度の岐阜県の家畜排せつ物処理整備関係事業の実施状況を表2、表3に示す。

国の補助事業(公共、非公共)、県単独事業、畜産環境整備リース事業を活用し、処理施設整備を進めてきた。平成15年度、平成16年度も同様に各補助事業等を活用して施設整備を行う予定である。

表2 畜産環境保全整備事業の実施状況(13年度)

区 分	総 数		事 業 内 容			
	件 数	事業費 (千円)	土地還元対策		家畜ふん尿処理施設等	
			件 数	事業費 (千円)	件 数	事業費 (千円)
畜産基盤再編総合整備事業	3地区	155,785	0地区	0	3地区	155,785
資源リサイクル畜産環境整備事業	1地区	174,978	0ヶ所	0	1地区	174,978
畜産環境改善緊急対策事業	10ヶ所	61,588	1ヶ所	2,940	9ヶ所	58,648
畜産環境整備リース事業	12ヶ所	161,713	0ヶ所	0	12ヶ所	161,713
計	4地区 22ヶ所	554,064	1ヶ所	2,940	4地区 21ヶ所	551,124

表3 畜産環境保全整備事業の実施状況(14年度)

区 分	総 数		事 業 内 容			
	件 数	事業費 (千円)	土地還元対策		家畜ふん尿処理施設等	
			件 数	事業費 (千円)	件 数	事業費 (千円)
畜産基盤再編総合整備事業	3地区	232,616	0地区	0	3地区	232,616
資源リサイクル畜産環境整備事業	2地区	58,716	0ヶ所	0	1地区	58,716
東濃牧場整備事業	1地区	20,435	0ヶ所	0	1地区	0,435
畜産環境改善緊急対策事業	12ヶ所	61,965	4ヶ所	12,479	8ヶ所	49,486
畜産環境整備リース事業	6ヶ所	93,714	0ヶ所	0	6ヶ所	93,714
計	5地区 18ヶ所	467,446	4ヶ所	2,479	5地区 14ヶ所	454,967

5. 家畜排せつ物処理施設の整備状況

岐阜県においても平成15年4月に畜産環境整備促進プロジェクトが設置され、本プロジェクトに基づく総点検の実施と整備状況などを調査した。

その結果、県内で約240戸の畜産農家が何らかの対策が必要であり、特に酪農において整備が遅れている状況である。

6. 今後の家畜排せつ物処理施設の整備対策

現在、何らかの対策が必要な畜産農家がどのような方法で施設整備を行うのか、個別に調査を行い、具体的な対応について指導している。

問題点としては、

- ・ 畜産環境整備リース事業の需要が多い
- ・ 畜産農家の点在化により補助事業での対応が困難
- ・ 一部の未整備農家で明確な処理対策が見出されていない

等があげられる。

残り1年余りの間にすべての未整備農家が処理施設を整備するためには、補助事業やリース事業の十分な予算確保はもちろんであるが、農家自身の意識改革が必要だと思われる。

遅くとも平成16年10月31日までに県内すべての「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」の対象となる畜産農家が管理基準を遵守できるように今後も関係者一丸となり推進していく。

【参考図書、参考調査】

- ・ 農林水産省統計部「畜産統計調査」「畜産物流通統計調査」
- ・ 岐阜県農林業の動き 2003
- ・ 平成15年環境白書 岐阜県